

2020年度 第3四半期決算
決算説明会資料

2021年2月3日



目次

■ A. 2020年度第3四半期決算概要

- A-1 : 2020年度第3四半期業績
- A-2 : セグメント別第3四半期業績

■ B. 2020年度通期業績予想と取組み

- B-1 : 2020年度通期業績予想及び変動要素
- B-2～3 : セグメント別通期業績予想

■ Appendix. インデックス等指標一覧

(市況・積高実績/前提、エクスポージャー比率)

A. 2020年度 第3四半期決算概要

A-1 : 2020年度第3四半期業績

■ 連結 第3四半期決算概要

(億円)

	2020年度			前年同期比		2020/12/28開示比	
	上期実績	3Q実績	9ヶ月累計	9ヶ月 前年実績	増減額	12/28開 9ヶ月累計	増減額
売上高	3,001	1,686	4,687	5,672	△ 985	-	-
営業損益	△ 102	70	△ 32	216	△ 248	-	-
経常損益	100	329	429	245	184	400	29
親会社株主に帰属する 当期純損益	96	536	632	252	380	600	32
為替レート(/\$)	¥106.82	¥104.76	¥106.14	¥109.05	△¥2.91		
燃料油価格(/MT)	\$353	\$335	\$347	\$445	△\$99		

■ 主な財務指標

(億円)

指標	2020年度3Q	2019年度末	増減額
自己資本	1,631	1,011	620
有利子負債	5,360	5,435	△ 75
現金及び現金同等物 期末残高	1,437	1,119	318
DER	329%	538%	△209ポイント
NET DER	238%	423%	△185ポイント
自己資本比率	18%(*)	11%	6ポイント

■ 主な変動要素

- ▶ 持分法適用会社OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.の運営するコンテナ船事業において、旺盛な貨物需要に伴い、市況も安定し経常損益、当期純利益が改善
- ▶ 当社が保有する、海外ターミナル事業を運営するINTERNATIONAL TRANSPORTATION SERVICE, INC.の保有株式売却により、特別利益を計上し親会社株主に帰属する当期純利益が改善

*格付機関から資本性評価50%を取得している劣後ローンを加味した場合、自己資本比率は22%相当

A-2 : セグメント別第3四半期業績

■ セグメント別 第3四半期決算概要

(億円)

セグメント (上段：売上高) (下段：経常損益)	2020年度			前年同期比	
	上期 実績	3Q 実績	9ヶ月 累計	9ヶ月累計 前年実績	増減額
ドライバルク	880	475	1,355	1,819	△ 464
	△ 93	16	△ 76	40	△ 116
エネルギー資源	378	198	576	650	△ 74
	34	6	40	77	△ 37
製品物流	1,617	923	2,540	2,951	△ 411
	187	332	519	157	362
うち、コンテナ船事業	213	108	321	760	△ 439
	215	302	517	56	461
その他	125	91	216	253	△ 36
	6	0	7	13	△ 7
本部・調整	-	-	-	-	-
	△ 35	△ 24	△ 60	△ 41	△ 19
合計	3,001	1,686	4,687	5,672	△ 985
	100	329	429	245	184

■ 主な変動要素

▶ ドライバルク

市況は期央以降は回復基調で推移し、当四半期初めには高騰したが、期末には下落。コロナ禍影響による上期の市況低迷の影響で、前年同期比で減収となり損失を計上

▶ エネルギー資源

油槽船・LNG船全般に安定的に稼働した一方で、オフショア支援船の市況は油価下落の影響等により回復せず、前年同期比で減収減益

▶ 製品物流

自動車船事業では、コロナ禍影響による大幅な荷量減の影響を受けるも、足元では回復傾向

コンテナ船事業は荷動きに応じた機動的な配船やコスト削減等の取組みに加え、夏場以降荷動きも回復し、堅調に推移した運賃市況によりONE社の業績が大幅に改善

セグメント全体では前年同期比で減収となるも増益

B. 2020年度 通期業績予想と取組み

B-1 : 2020年度通期業績予想及び変動要素

■ 連結 通期業績予想

(億円)

売上高及び段階損益	2020年度			前年同期比		2Q公表比	
	上期実績	下期予想	通期予想	通期実績	通期増減額	通期公表	通期増減額
売上高	3,001	3,119	6,120	7,353	△ 1,233	5,900	220
営業損益	△ 102	△ 107	△ 210	68	△ 278	△ 250	40
経常損益	100	400	500	74	426	0	500
親会社株主に帰属する 当期純損益	96	553	650	53	597	200	450
為替レート(/\$)	¥106.82	¥104.63	¥105.73	¥109.13	△¥3.40	¥105.98	△¥0.25
燃料油価格(/MT)	\$353	\$365	\$358	\$467	△\$109	\$362	△\$3

■ 通期業績 主な変動ポイント

- ▶ COVID-19感染再拡大等の影響については引き続き注視
- ▶ 通期の売上高は6,120億円と2Q公表並み、通期営業利益は△210億円と2Q公表比40億円の改善を見込む
- ▶ 通期の経常利益は500億円（2Q公表比500億円改善）、当期純損益では650億円の黒字（2Q公表比450億円改善）を見込む

■ 前提

- ▶ 為替レート ¥106/\$
- ▶ 燃料油価格 \$358/MT
- ▶ 市況前提 Appendixご参照

■ 変動影響(4Q 3ヶ月間)

- ▶ 為替レート変動 1円変動 ±0.7億円
- ▶ 燃料油価格変動 10ドル変動 ±0.0億円

■ 配当

財務体質の改善を喫緊の課題と捉え収益の改善に向け取り組んでまいります。期末配当予想につきましては現時点では未定とさせていただきます。

B-2 : セグメント別通期業績予想

■ セグメント別 通期業績予想

(億円)

セグメント (上段：売上高) (下段：経常損益)	2020年度			前年同期比		2Q公表比	
	上期 実績	下期 予想	通期 予想	通期 実績	通期 増減額	通期 公表	通期 増減額
ドライバルク	880	930	1,810	2,338	△ 528	1,790	20
	△ 93	12	△ 80	41	△ 121	△ 70	△ 10
エネルギー資源	378	383	760	847	△ 86	780	△ 20
	34	△ 24	10	99	△ 89	5	5
製品物流	1,617	1,653	3,270	3,845	△ 575	3,080	190
	187	463	650	△ 29	679	115	535
うち、コンテナ船事業	213	217	430	1,020	△ 590	420	10
	215	445	660	△ 104	765	160	500
その他	125	154	280	323	△ 43	250	30
	6	△ 1	5	17	△ 12	10	△ 5
本部・調整	-	-	-	-	-	-	-
	△ 35	△ 50	△ 85	△ 54	△ 31	△ 60	△ 25
合計	3,001	3,119	6,120	7,353	△ 1,233	5,900	220
	100	400	500	74	426	0	500

■ セグメント別 主な変動ポイント

▶ ドライバルク

各国の経済刺激策により原材料を中心とした海上輸送需要に復調の兆しがみられるが、第3四半期の大型船市況の一時的な下落の影響を受け通期で下方修正

▶ エネルギー資源

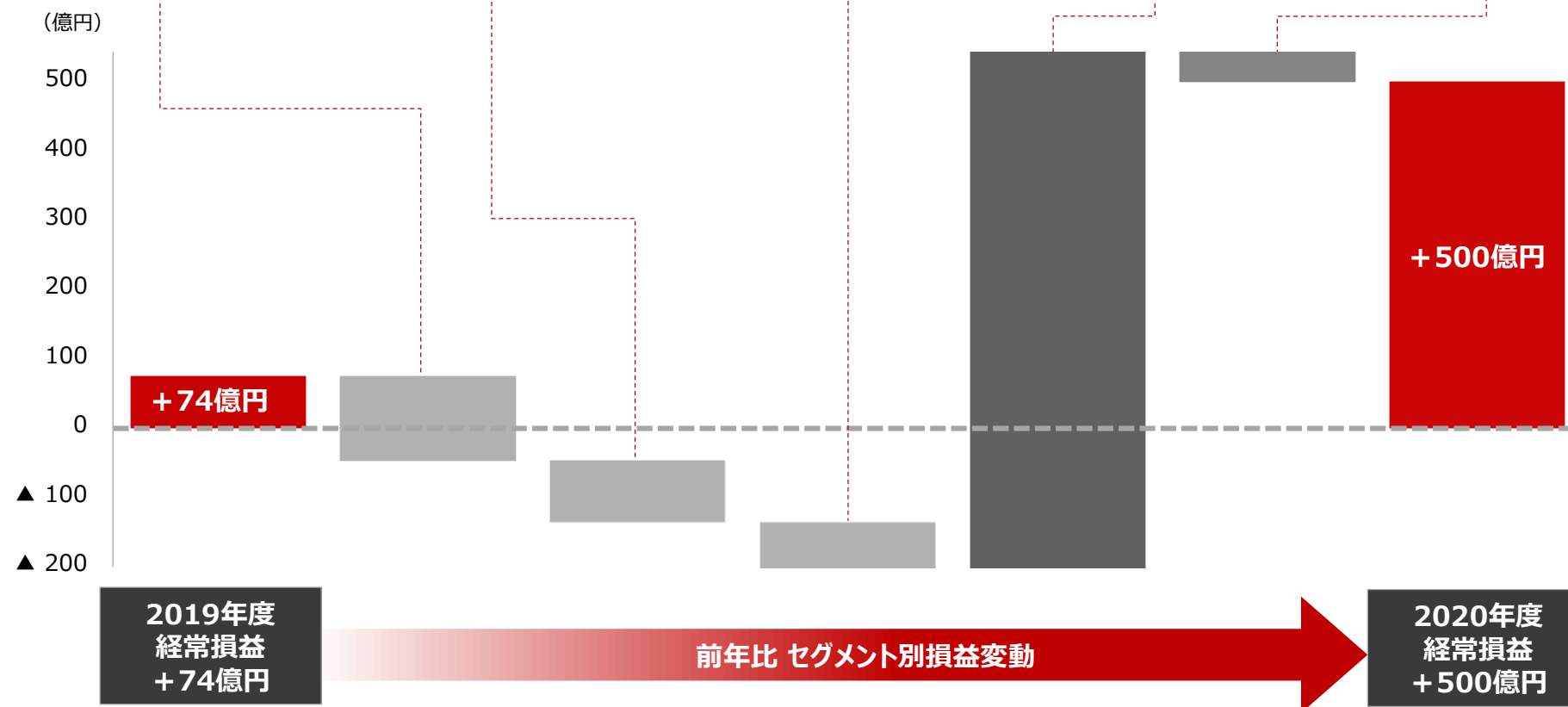
VLCC(大型原油船)、LPG船、電力炭船及びLNG船において、中長期の期間備船契約のもとで安定収益の確保を見込む
オフショア支援船事業においては、引き続きコスト削減等により収支の改善に努める
ドリルシップ事業は油価低迷により一過性の損失を見込む

▶ 製品物流

自動車船事業において、足下の荷量は回復傾向なるもCOVID-19の影響は残る見込み
物流事業は需要の回復とeコマース関連の荷動きを取り込むことで収支改善を見込む
コンテナ船市況は、旺盛な貨物需要に下支えされ、安定して推移する見込み

B-3 : セグメント別通期業績予想

■ 前年比経常損益とセグメント別損益変動



| Appendix

市況実績・前提/エクスポージャー比率

■ ドライバルク市況実績・前提

バルク市況	2019年度					2020年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想
CAPE	\$11,350	\$29,400	\$21,950	\$4,500	\$16,800	\$9,950	\$20,750	\$16,950	\$16,000	\$16,000
PANAMAX	\$9,500	\$16,050	\$11,550	\$5,700	\$10,700	\$6,050	\$11,750	\$10,700	\$8,500	\$9,300
HANDYMAX	\$8,200	\$12,300	\$10,600	\$6,550	\$9,400	\$5,500	\$9,950	\$10,750	\$8,000	\$8,550
SMALL HANDY	\$6,100	\$8,450	\$8,100	\$4,500	\$6,800	\$3,250	\$7,150	\$9,200	\$7,000	\$6,650

■ 油槽船市況実績・前提

油槽船市況 (WS)	2019年度					2020年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想
VLCC	41	55	112	87	74	94	35	29	52	52
(中東/日本)	\$13,900	\$27,750	\$96,750	\$87,050	\$56,350	\$107,850	\$19,750	\$10,900	\$30,000	\$42,150
AFRAMAX	99	91	168	171	132	119	69	54	83	81
(南方/日本)	\$12,650	\$10,000	\$27,650	\$22,650	\$18,250	\$26,350	\$9,650	\$4,650	\$8,350	\$12,250

■ 期末運航隻数規模

船型	2018年度末	2019年度末	2020年度 12月末
CAPE	96	93	86
中・小型船	103	92	89
チップ船	10	10	7
合計	209	195	182

船型	2018年度末	2019年度末	2020年度 12月末
VLCC	8	6	6
LPG船	8	5	4
他油槽船	6	6	6
電力炭船	25	29	30
LNG船	48	47	47
合計	95	93	93

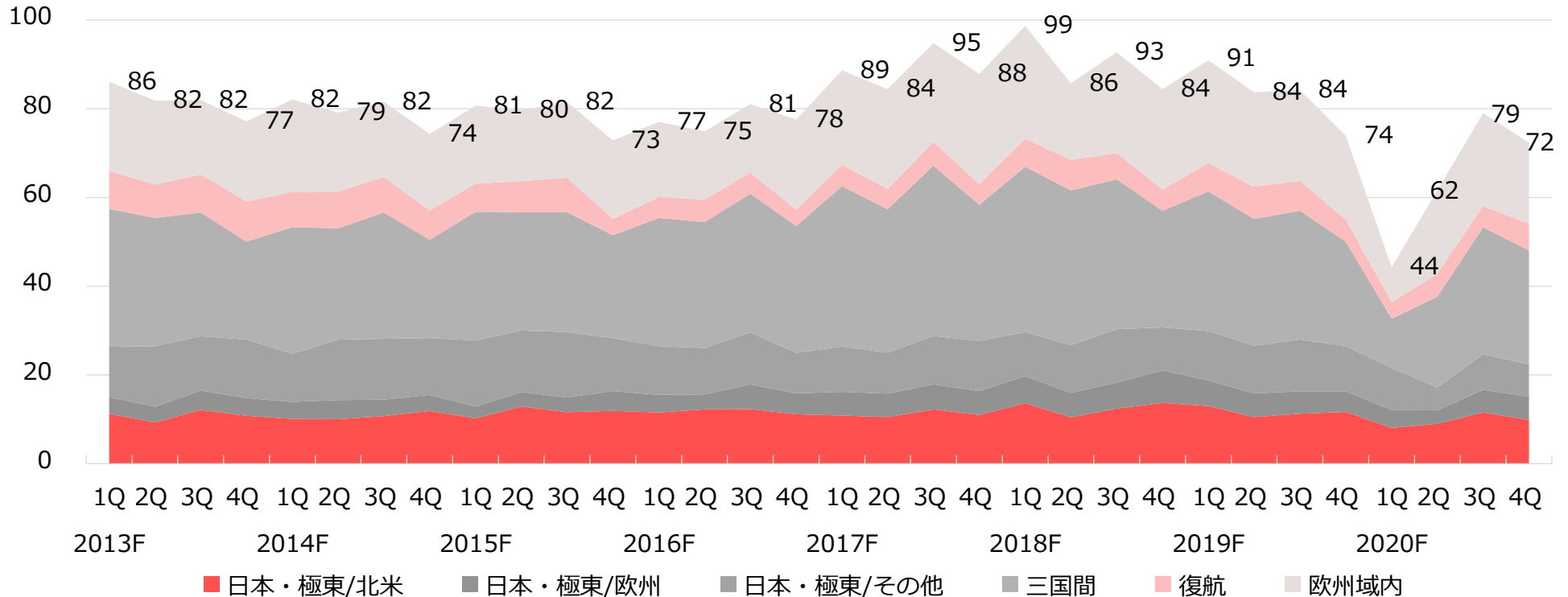
■ 2020年度：運航規模におけるエクスポージャー率

船型	エクスポージャー率
CAPE	5%
中・小型船	7%
チップ船	0%
VLCC	0%
LPG船	0%
他油槽船	67%
電力炭船	1%

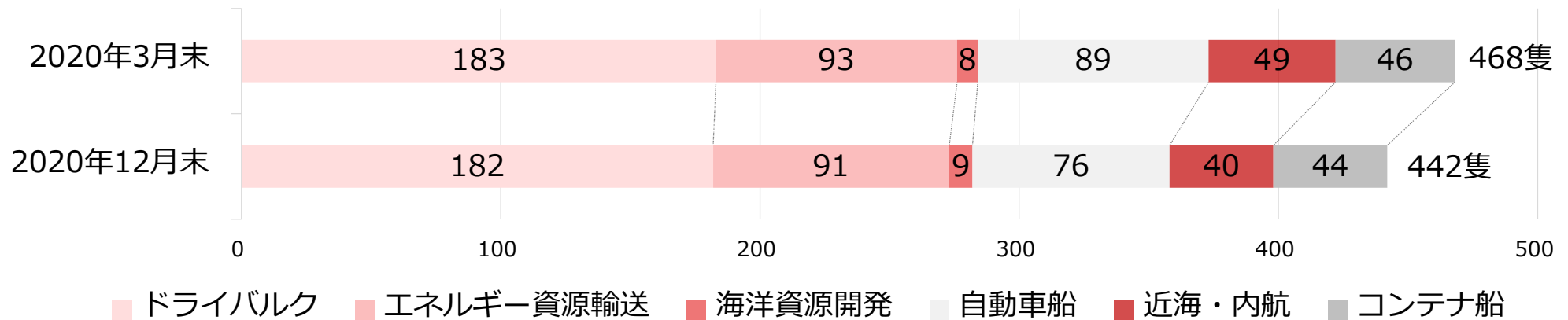
自動車船航路別積高実績・前提

輸送台数 (千台)	2019年度					2020年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想
往航	299	266	280	265	1,109	215	172	247	224	858
復航	64	73	67	49	254	37	51	48	60	196
三国間	315	286	291	235	1,126	112	204	286	257	859
欧州域内	231	213	205	190	839	79	187	209	183	659
合計	909	837	843	739	3,328	443	615	790	723	2,572
船隊規模 (隻数)	85	86	84	85	85	84	76	75	78	78

(10,000 Units)



グループ船隊構成



船種	2020年12月末						2020年3月末	
	所有船		備船		合計		合計	
	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン
ドライバルク	53	6,496,942	129	16,698,841	182	23,195,783	183	23,930,307
電力炭船	6	527,434	23	2,042,749	29	2,570,183	29	2,595,392
LNG船	44	3,721,637	2	152,272	46	3,873,909	47	3,953,514
油槽船	11	1,719,494	5	776,868	16	2,496,362	17	2,546,549
オフショア支援船	6	29,186	0	-	6	29,186	6	29,186
海洋掘削船	1	-	0	-	1	-	1	-
FPSO	1	-	0	-	1	-	1	-
LNG燃料供給船	1	2,431	0	-	1	2,431	-	-
自動車船	33	442,571	43	795,400	76	1,237,971	89	1,464,163
近海・内航	23	181,804	17	230,193	40	411,997	49	564,927
コンテナ船	7	460,448	37	3,574,637	44	4,035,085	46	4,082,343
合計	186	13,581,947	256	24,270,960	442	37,852,907	468	39,166,381

* 所有船の隻数は共有船を含み、重量トン数は共有船の当該船舶における他社持分を含んでいます。

* 基幹船隊に加え、期末時点の短期・スポット備船を含んだ隻数となります。

グループ運航船舶/新造船竣工予定

■ グループ運航船舶

セグメント	事業部門・船種	2020年度3月末	2020年度12月末
ドライバルク セグメント	CAPE SIZE	89	82
	OVER PANAMAX	4	4
	PANAMAX	42	52
	HANDYMAX	34	32
	SMALL HANDY	4	5
	CHIP	10	7
セグメント合計		183	182
エネルギー資源 セグメント	原油タンカー/VLCC	6	6
	原油タンカー/AFRAMAX	3	3
	油槽船	3	3
	ケミカル船	5	4
	LPG船	5	4
	合計	17	16
	LNG船	47	46
	電力炭船	29	29
	オフショア支援船	6	6
	海洋掘削船	1	1
	FPSO	1	1
LNG燃料供給船	0	1	
セグメント合計		101	100
製品物流 セグメント	7,000台型	15	13
	6,000台型	39	36
	5,000台型	14	10
	4,000台型	5	1
	3,000台型	5	4
	2,000台型	4	5
	2,000台型未満	7	7
	合計	89	76
	14,000TEU	12	12
	8,000TEU以上	13	13
	5,500TEU以上	7	7
	4,200TEU以上	7	7
	1,700TEU以上	7	5
	1,200TEU以上	0	0
合計	46	44	
近海・内航船	49	40	
セグメント合計		184	160
総合計		468	442

■ 新造船竣工予定（年度別）

竣工隻数	2020	2021	2022
CAPE SIZE		1	
OVER PANAMAX		2	
HANDYMAX			1
CHIP			1
LNG船			2
PCC 7,000台型	1		
近海・内航船	1	2	
合計	2	5	4

【免責事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とし、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

【見通しに関する注意事項】

本資料には将来についての予想や見通しが含まれておりますが、これらは当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、経済動向、海運業界需給、燃料価格、為替相場等の動向により変動することをご了承下さい。

